



杉本市長に新茶を手渡す山本会長(中央)と鈴木茶業部会長(右)

お茶の需要拡大に役立てて

■市認定農業者協議会から新茶寄贈

5月28日、市認定農業者協議会(山本義明会長)から市に対し、新茶10キロが寄贈されました。この日は、山本会長と鈴木達也茶業部会長が杉本市長のもとを訪れ、市長のトップセールスや市のPRなどに活用してもらえよう、会員が大切に育てた自慢の新茶を手渡しました。鈴木茶業部会長は「お茶は厳しい状況ですが、直接県外の皆さんへ届ける機会を増やし、飲み方と共に伝えることで、需要が拡大することを期待したい」と話しました。

市の花アジサイ 色鮮やかに

■秋葉公園のアジサイ見ごろ

秋葉神社参道沿いにある秋葉公園(川崎区)では、6月上旬からアジサイが見ごろを迎えました。秋葉公園には、8種類約4,000株のアジサイが群生し、毎年この時期に色とりどりの花を咲かせます。またアジサイが見ごろとなる期間は、夜間に街灯の点灯も行われ、光に照らされた幻想的な風景を楽しむこともできます。公園を訪れた人は、色鮮やかなアジサイの花をじっくり眺めたり、写真を撮影したりするなど、思い思いに楽しんでいました。



色鮮やかなアジサイが咲き誇る秋葉公園

消防団の協力で消防活動を体験

■親子ふれあい放水体験

坂部小学校で5月11日、「親子ふれあい放水体験」が行われました。これは、毎年この時期に行われる学校奉仕作業に合わせて牧之原市消防団第3分団に来てもらい実施しているもので、児童らは保護者や学校職員、地域住民らと校庭の清掃や裏山の除草作業をした後、学校のプールを使用して消防団員の指導を受けながら放水体験をしました。体験した児童は「ホースが思ったより重くて大変だったけど、楽しかった」と話しました。



消防団員の指導を受けながら放水する児童



お客さんに笑顔で接する牧之原中学校の生徒

私たちが作った新茶はいかがですか

■「学園茶」の販売と呈茶サービス

牧之原中学校の3年生が5月26日、東名高速道路牧之原サービスエリアで新茶の販売と呈茶サービスを行いました。この日販売したお茶は、学校の茶園で生徒らが手摘みした約140キロの新茶を、地元の業者が製茶し、50グラムずつ袋詰めにしたものです。茶娘・茶息子姿の生徒たちは、サービスエリアに立ち寄った行楽客らに「私たちが作った新茶です。いかがですか」と積極的に声をかけ、入れたての新茶を振る舞い、販売をしました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

ズームイン!
カシャ!!



祭壇に献花をするあおぞら保育園の代表園児ら

平和と人命の尊さを次世代に

■牧之原市戦没者追悼式

5月22日、牧之原市戦没者追悼式がい〜らで行われました。式典では、遺族会をはじめ多くの関係者の皆さんが、戦没者の御霊を敬い、平和の大切さやありがたさを改めて考えました。市遺族会の原本文隆会長は、「戦争を知らない世代が増えていく中、私たち遺族会の責務は、戦争の愚かさや悲惨さを強く訴え、人命の尊さを次の世代に語り継ぐことだ」と話しました。また、遺族会やおおぞら保育園の園児たちは祭壇に献花を行い、出席者も特設された献花台に花を手向けて、戦没者の冥福を祈り、不戦を新たに誓いました。

安全な自転車の乗り方を学ぼう

■交通安全教室

地頭方小学校で5月8日、交通安全教室が開かれ、4年生33人が参加しました。児童らはまず、教室で県交通安全協会の交通安全指導員から道路標識の意味や自転車運転時の注意点などについて学んだ後、筆記試験を受験。その後、グラウンドで実際に自転車に乗りながら、信号機のある交差点の渡り方や一時停止の仕方などを学びました。授業の最後には、4年生全員に自転車運転免許証が交付されました。この教室は、市内の全小学校で実施されます。



自転車運転時の一時停止の仕方を教わる児童



スタートの合図で一斉に海へ向かうライフセイバー

海活用に新たな挑戦!

■静岡サーフカーニバル2019 in さがらサンビーチ

大型連休最終日となった5月6日、さがらサンビーチで「静岡サーフカーニバル2019」が開催されました。このイベントは、市内を拠点に活動するライフセービングクラブのメンバーが中心となって運営し、今年で3回目の開催となります。今回の大会には、関東から東海エリアで活動している現役のライフセーバーやOB150人以上が参加。海水浴シーズンを前に、競技を通じて技術の確認を行い、チームの団結を深めました。